



この組合せは世界にひとつだけ 「松浦タータン」誕生

■「松浦タータン」誕生

長崎県立松浦高等学校（以下「松高」という。）の新しい制服に用いられてるチェック柄は世界にひとつしかありません。

このチェック柄は、松高の制服を24年ぶりにリニューアルする際に誕生しました。

この度、この松高オリジナルのチェック柄が、英国を代表する世界的キルトメーカー「キンロック・アンダーソン社」から、『世界にひとつだけのチェック柄』として認定を受けました。

日本ではタータン・チェックと称される格子柄のデザインは、英国ではタータンと呼ばれ、スコットランドの氏族（クラン）や一族（ファミリー）を象徴する日本の家紋のような役割を果たしていました。色や柄の一つひとつに由来と意味が込められています。

市では、このチェック柄を「松浦タータン」として、地域のブランド力を高めるために、松高の制服以外にも活用したいと考えています。

特集

この組み合わせは世界にひとつだけ
「松浦タータン」誕生

まちと学校をイメージしたチェック柄

松高の制服がリニューアルされ、平成30年度の新入生から着用しています。この制服に用いられているチェック柄は、制服リニューアルプロジェクト（以下「新制服プロジェクト」という）の中で誕生しました。

「松浦タータン」は、松高のスクールカラーであるダークグリーンと、松浦の海と空をイメージしたウルトラマリブルーを組み合わせてデザインされたもので、色や柄で直観的に「松浦」を想起させてくれます。

新制服プロジェクトは、さらなる魅力向上を図りたいという学校側の想いと、松浦市唯一の高校である松高の生徒に地元の縫製工場で生産した制服を着て欲しいという地域の想いが合致して動き出しました。

生徒が着たいと思える制服づくりには、生徒の意見が不可欠。公募によって選ばれた生徒実行委員会8人が主体となって企画を進め、新制服を完成させました。今回、生徒実行委員会のメンバーだった竹下奈菜さん（3年生）と梶山結菜さん（3年生）に、新制服プロジェクトについて振り返ってもらいました。

新制服づくりでは、次の3つのポイントを大事にしました。

- ・ 独自性 松高チェック
- ・ 冠婚葬祭に着用できる
- ・ 伝統を受け継ぐ

後輩たちに誇り高い松高生になつて欲しいという願いを込め、さまざまなこだわりを詰め込みました。

こだわりのチェック柄！

右下の2枚の写真は、布地のサンプルです。

チェック柄の違いわかりますか？

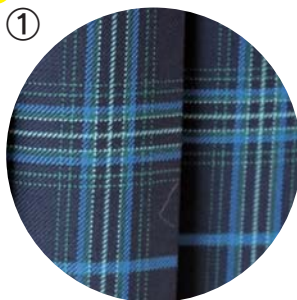
②のサンプルには、松浦市の花であるツバキをイメージした赤いラインが入っています。

ラインの入れ方や太さなどを変えて、数パターン作成し検討しましたが、結果的には、赤が入らない方が、青の色味がほやけずくつきり映える、という理由で①に決定しました。

ここまで細かく話し合いを重ねて「松浦タータン」は生まれました。



▲写真左から
竹下奈菜さん、梶山結菜さん



▲「キンロック・アンダーソン社」の
認定証